

とちの実 支援センターだより

2024年 3月号 NO.175

今年度最後のおたよりになりました。今まで支援センターだよりをご覧頂きありがとうございました。1年間たくさんの出会いがありました。行事では、クッキングをしたり、園庭では一緒に築山に登ったりと一緒に楽しめたことが、良い思い出になりました。

<感染症に要注意>

子どもが感染しやすく、これまでは夏に流行してきた「プール熱(アデノウイルス)」。熱やのどの痛み、目が赤くなったり、目やにが出たりする結膜炎が特徴です。今年の冬は、プール熱(アデノウイルス)以外の感染症も要注意です。風邪の症状や結膜炎、胃腸炎などを引き起こすウイルスです。夏の時期にプールでうつることが多いのでこの名前で呼ばれますが、冬にも感染します。

茨木福祉医療センターの小児科医・市橋光さんは「コロナ禍でみんなが感染対策をしていたので、ここ数年アデノウイルスにかかる人が少なくなっていました。ウイルスに感染すると、体の中にウイルスとたたかう抗体ができます。この抗体を持つ人が少ないので、流行していると考えられます。」と話します。

抗体を持つ人が少なくて流行している感染症は、アデノウイルスだけではなくありません。インフルエンザや、熱やのどの痛みが出る溶連菌感染症も流行しているといえます。「風邪のウイルスは100種類以上あります。どれも抗体を持つ人が少なくなっているため、感染が広がる可能性があります。感染者が増えた新型コロナウイルスも変異を続けているので、注意が必要です。」

<手洗い・水分栄養を補って>

感染を防ぐためには、「基本的な対策を続けることが大切」だといいます。こまめな手洗いやアルコール消毒で、ウイルスなどがついた手で口や鼻で感染する「接触感染」を防ぎます。プール熱は特に接触感染が多くなっています。目にも症状が出るので、顔をふくタオルなども分けましょう。

人混みに行ったり、体調が悪かった時には、マスクを着けます。鼻から顎までしっかりおおうように、正しく着けるようにしましょう。

感染症は、せきや会話で口から出る小さな水滴「飛沫」でも、他の人にうつります。空気が乾燥しているとウイルスの周りについた水分が蒸発しやすくなります。すると、ウイルスが空中をただよう時間が長くなり、感染が広がりやすくなります。冬は乾燥するので、加湿器などを使いましょう。バランスの良い食事で栄養を摂り、きちんと睡眠をとったりして、体の調子を整えましょう。

朝日小学生新聞:2023年11月28日より

<クッキングでみそ汁作りをしました>

1月31日に、キャベツと大根のみそ汁を作りました。キャベツはそのまま、大根はピーラーで削ったあと、お母さんと一緒にちぎりました。みそ汁のダシはかつお節です。かつお節を入れ、ダシが取れたらすくい上げ、子どもたちと野菜を入れました。味見をして完成です!

参加したお母さん達からは、「お手伝いのさせ方として、ピーラーで削った野菜をちぎるという方法を学べてよかったです。ケガもなく簡単にクッキングを経験することができて、安心しました。また、違うクッキングをしてみたいです。」という感想を頂きました。次回も子ども達と一緒に楽しくできる料理を計画していきたいと思います。

#VALUE!

<大きくなったかな>

身体測定カードを(1年間)準備しています。☆ 気軽に、声をかけてくださいね。

支援センター利用時間:午前9時30分~11時30分 午後13時00分~16時00分

「利用にあたってのお願い」

- 希望の方は園庭でも遊べるので、着替え、タオル等をご持参ください。
- 利用人数把握のため、可能な方は事前に電話連絡をお願いします。
- マスクの着用、手指の消毒は、個人の判断でお願いしています。
- 園内での飲食は、ご遠慮ください。
- 風邪症状のある方は利用を控えてください。

とちの実保育園 支援センター 山形市南四番町3-11 TEL023-666-8899